平成30年度 春期 プロジェクトマネージャ試験 採点講評

午後 || 試験

全問に共通して、"論述の対象とするプロジェクトの概要"で記入項目間に不整合がある、又はプロジェクトにおける立場・役割や担当した工程、期間が論述内容と整合しないものが見られた。これらは論述の一部であり、評価の対象となるので、適切に記述してほしい。記述したプロジェクトの特徴を踏まえ、設問で問われている事項に対応してプロジェクトマネージャ(PM)としての経験と考えに基づいて論述してほしい。

問 1 (システム開発プロジェクトにおける非機能要件に関する関係部門との連携について)では、プロジェクト計画の段階で関係部門の役割を明確にした上で、関係部門と十分な連携を図るための取組みを検討し、関係部門と一体となってプロジェクトを推進することについて、具体的に論述できているものが多かった。一方、関係部門と連携を図る際の注意点が不明確な論述、非機能要件の内容を詰める作業の記述に終始してプロジェクト管理の視点に欠ける論述など、関係部門との連携に関する PM の対応内容としては不十分な論述も見られた。

問 2 (システム開発プロジェクトにおける本稼働間近で発見された問題への対応について) では,予定されたシステムの稼働日の延期が難しい状況のときに,本稼働間近で予定された稼働日までに解決が困難な問題が発見された場合,暫定的な稼働を迎えるために立案,実施した当面の対応策について具体的に論述できているものが多かった。一方,PM としてやるべきことを怠っていたと推察される論述,例えば,本稼働間近より前の工程で当然発見され,解決されなければならない問題を本稼働間近で発見したような論述も見られた。